

都市問題等調査特別委員会

委員会資料

滑走路増設後の状況について

令和8年1月28日

港湾空港局

目 次

滑走路増設後の状況について

1	福岡空港の滑走路増設について	P 1
2	福岡空港の機能向上等の取組みについて	P 3
3	騒音対策区域の見直しについて	P 4

(資料)

別冊

【參考資料 1】

福岡空港の機能向上の早期実現に向けた方策の技術的検討等に係る国への要請（写）

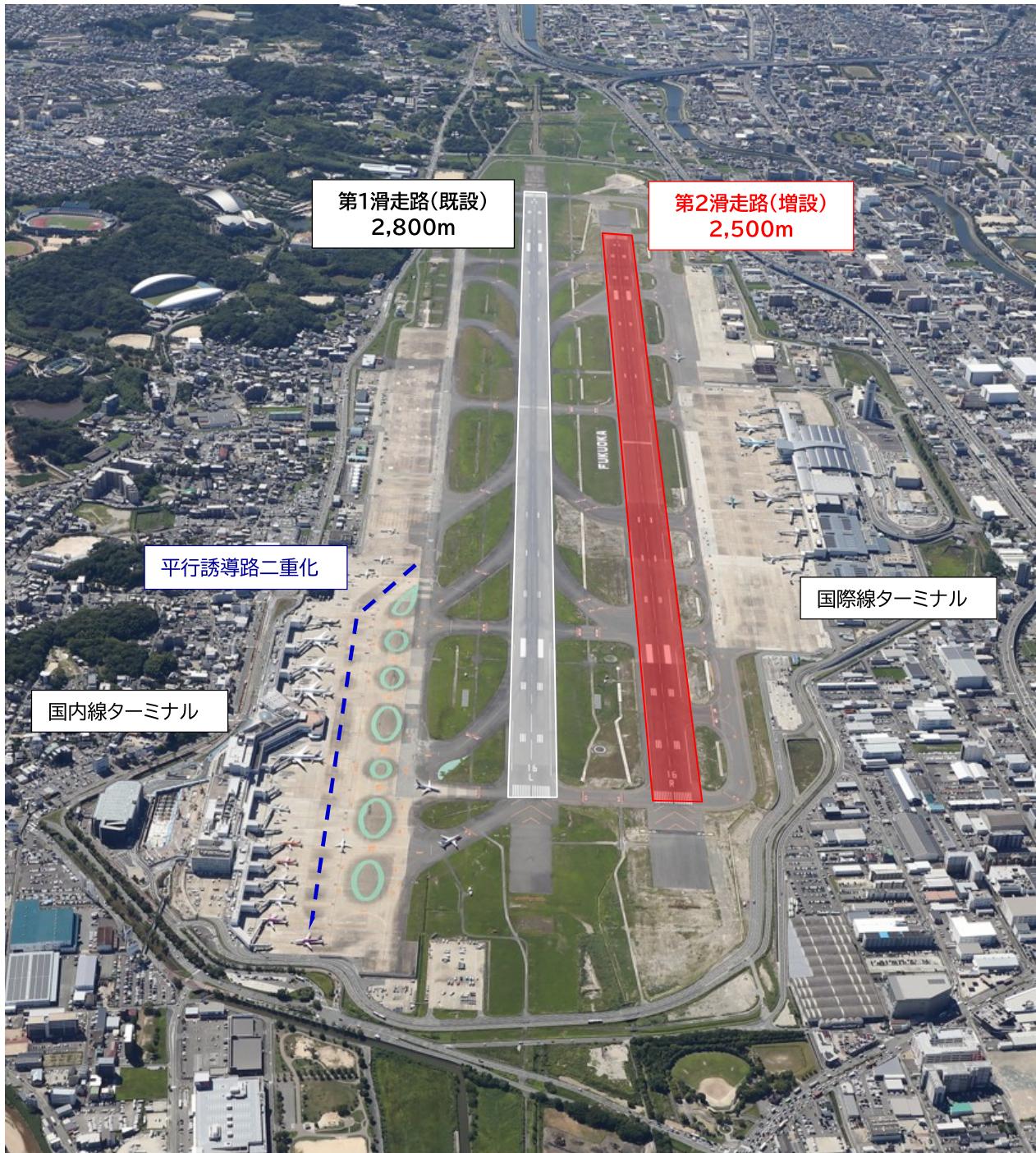
【參考資料 2】

福岡空港機能向上等検討委員会 第1回会議資料

【參考資料 3】

2025年度（2026年3月期）第2四半期決算説明会資料 (福岡国際空港株式会社)

【福岡空港全景（北から南方向を望む）】



航空写真：国土交通省 九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所

1 福岡空港の滑走路増設について

(1) 滑走路増設事業概要

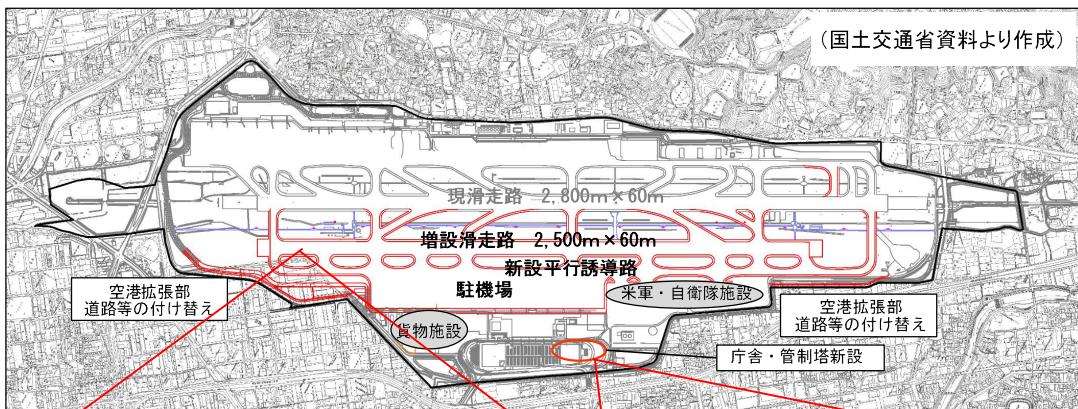
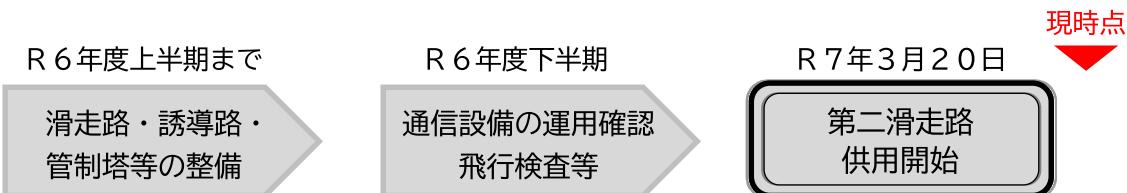
- ・事 業 目 的 : ピーク時の航空機混雑の解消や将来の航空需要に適切に対応するため、滑走路増設事業を実施
- ・滑走路処理能力 : 18.8万回／年（滑走路増設後）

【事業着手前】	16.4万回/年 (35回/時)
【誘導路二重化後】	17.6万回/年 (38回/時)
【滑走路増設後】	18.8万回/年 (40回/時)

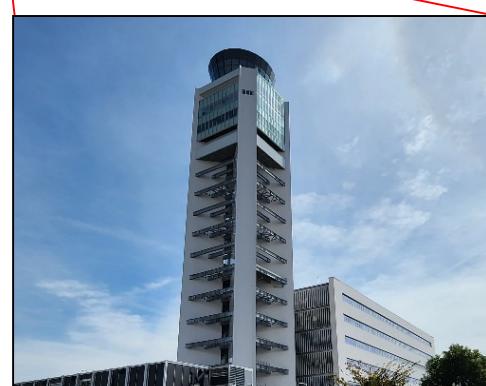
※滑走路増設に伴う周辺地域への航空機騒音の影響を把握するため、騒音監視体制の充実を図っている。

- ・計画総事業費 : 約1,643億円（市負担額：約180億円）
- ・事業期間 : 平成27年度～令和6年度
- ・供用開始日 : 令和7年3月20日

(2) 進捗状況



【第二滑走路供用開始後の運用状況】



【新管制塔】

【滑走路増設前後の乗降客数の比較】

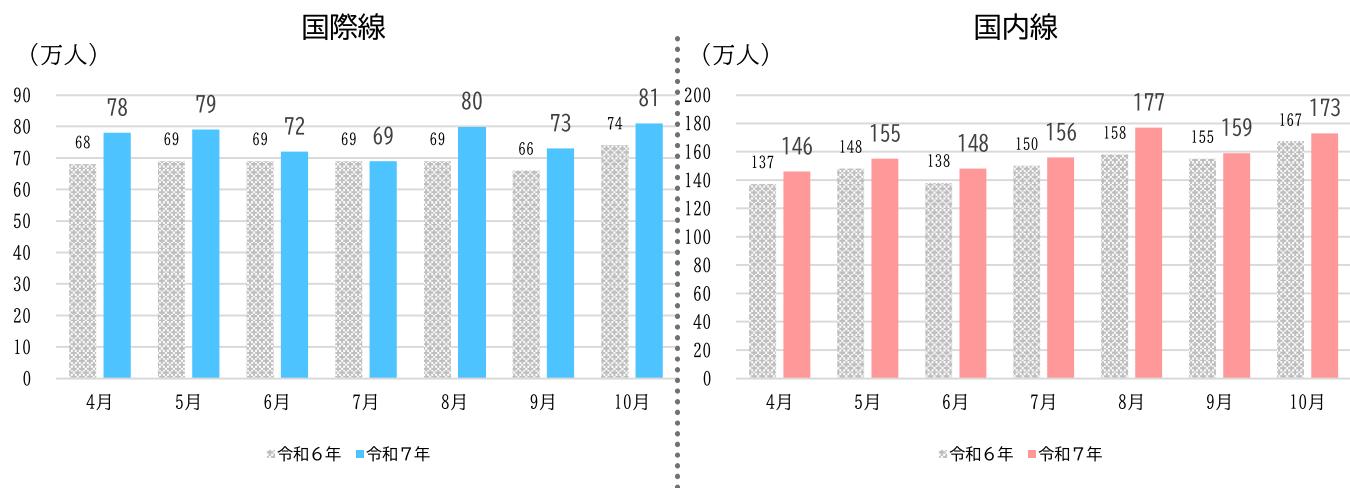
<令和6年度、7年度 同期累計比較>

(単位：万人)

	令和6年 4～10月累計	令和7年 4～10月累計	対前年比
国際線	484	533	110.1%
国内線	1,053	1,114	105.8%
計	1,537	1,646	107.1%

※端数処理のため合計が合わない場合がある

<令和6年度、7年度 4月～10月の月別内訳>



※令和6年は、国土交通省「空港管理状況調書」による

※令和7年は、大阪航空局「管内空港の利用状況概況集計表（速報値）」による

2 福岡空港の機能向上等の取組みについて

福岡空港の機能向上等について検討する場として、「福岡空港機能向上等検討委員会（以下「検討委員会」という。）」が発足した。

（1）設立趣旨

福岡空港では、本年3月20日に第二滑走路の供用を開始した。国は、周辺地域の理解を得たうえで、進入方式の高度化及び滑走路運用方法の見直しにより、1時間あたり45回（現状40回）までの処理能力向上を想定している。

現在、九州・福岡を取り巻く経済環境が成長局面にあり、半導体ビジネス等における各国・各地との往来の急速な活発化や地域経済を支えているインバウンド急増への対応が九州の更なる発展に必要とされている。

このような背景を踏まえ、一般社団法人九州経済連合会と福岡国際空港株式会社を共同事務局とした検討委員会を立ち上げ、経済界・福岡県・福岡市の協力を得ながら、福岡空港の機能向上の早期実現について検討していく。

（2）構成員

委 員 長	池辺 和弘	一般社団法人九州経済連合会会長
委 員	谷川 浩道	福岡県商工会議所連合会会長
//	青柳 俊彦	福岡経済同友会代表幹事
//	倉富 純男	福岡県経営者協会会長
//	江口 勝	福岡県副知事
//	光山 裕朗	福岡市副市長
//	田川 真司	福岡国際空港株式会社代表取締役社長執行役員
オブザーバー	田口 芳郎	国土交通省航空局航空ネットワーク部長
//	塩田 昌弘	国土交通省大阪航空局長
//	酒井 浩二	国土交通省九州地方整備局副局長

（3）第1回検討委員会の開催について

ア 日 時 令和7年11月11日（火）16:00～17:00
イ 場 所 ONE FUKUOKA CONFERENCE HALL 「Presentation Room 2」
（ONE FUKUOKA BLDG. 6階）

ウ 議 題 福岡空港の現状、検討経緯及び需要の見通し 等

エ 開催結果

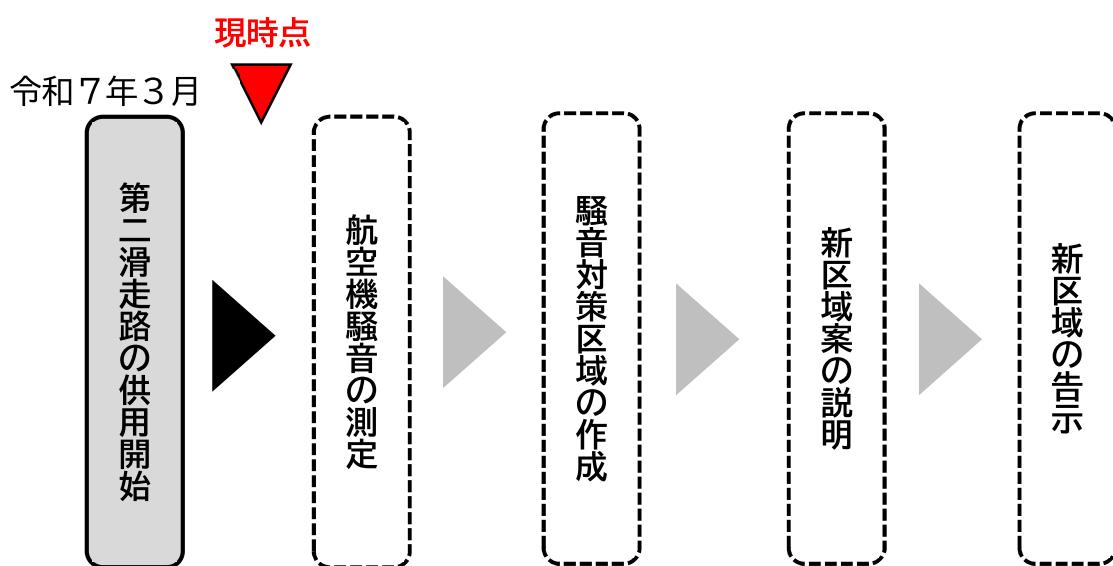
- ・九州・福岡を取り巻く経済環境が成長局面にあり、半導体ビジネス等における各国・各地との往来の急速な活発化や地域経済を支えているインバウンド急増への対応が九州の更なる発展に必要となっている。
- ・新たな進入方式等の具体化及びその安全面・環境面からの検証を早期に行なううえで、周辺地域のご理解を得ながら福岡空港の処理能力向上の前倒しを実現することで、旺盛な航空需要に適切に応えていくことが必要不可欠であることを確認した。
- ・これを踏まえ、本委員会より国土交通省航空局に対し、福岡空港の機能向上の早期実現に向け、環境アセス「評価書」を踏まえた「1時間あたり45回」の処理能力に関する技術的検討及びこれを踏まえた同空港の騒音対策区域見直しの実施を要請した。

3 騒音対策区域の見直しについて

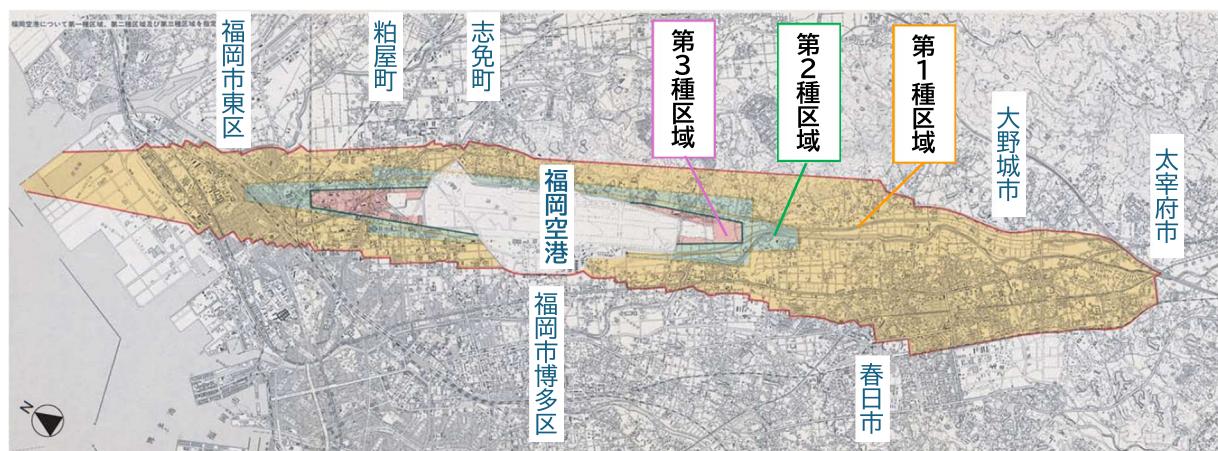
福岡空港の周辺地域においては、「公用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づき、騒音の程度に応じた騒音対策区域が設定され、移転補償や住宅防音工事助成などの環境対策が実施されている。

国は、第二滑走路供用開始後の航空機騒音の測定を実施し、その結果等を踏まえ、騒音対策区域を見直す予定としている。

■スケジュール



■現在の福岡空港の騒音対策区域

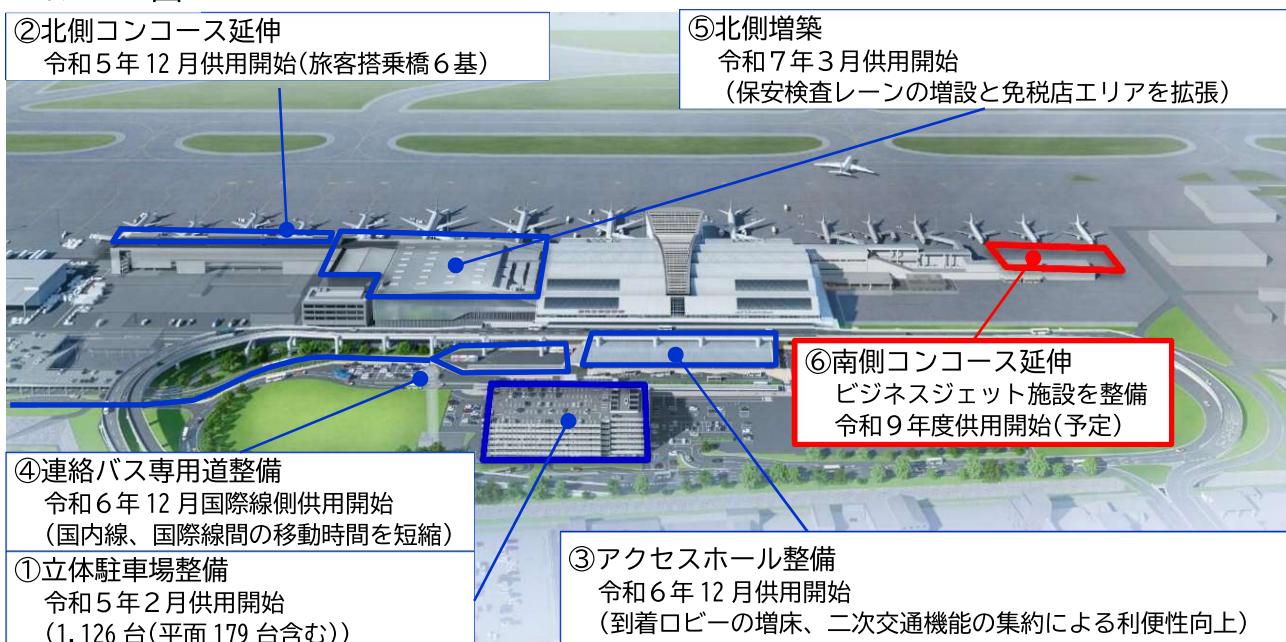


※独立行政法人 空港周辺整備機構の資料を基に福岡市作成

参考1 国際線地区の整備

- (1) 実施概要
- 空港ターミナル施設容量の拡大
 - 利便性の向上と魅力ある施設づくり
- (2) 実施期間
- 令和4年5月～令和9年度（予定）
- (3) 実施主体
- 福岡国際空港株式会社

■イメージ図



出所：梓設計・HOK・西日本技術開発共同企業体

参考2 国内線地区の整備

- (1) 実施概要
- 空港利用者の増加を見据えた駐車容量の拡大
 - 利便性の向上と魅力ある施設づくり
- (2) 実施期間
- 令和5年2月～令和9年度（予定）
- (3) 実施主体
- 福岡国際空港株式会社

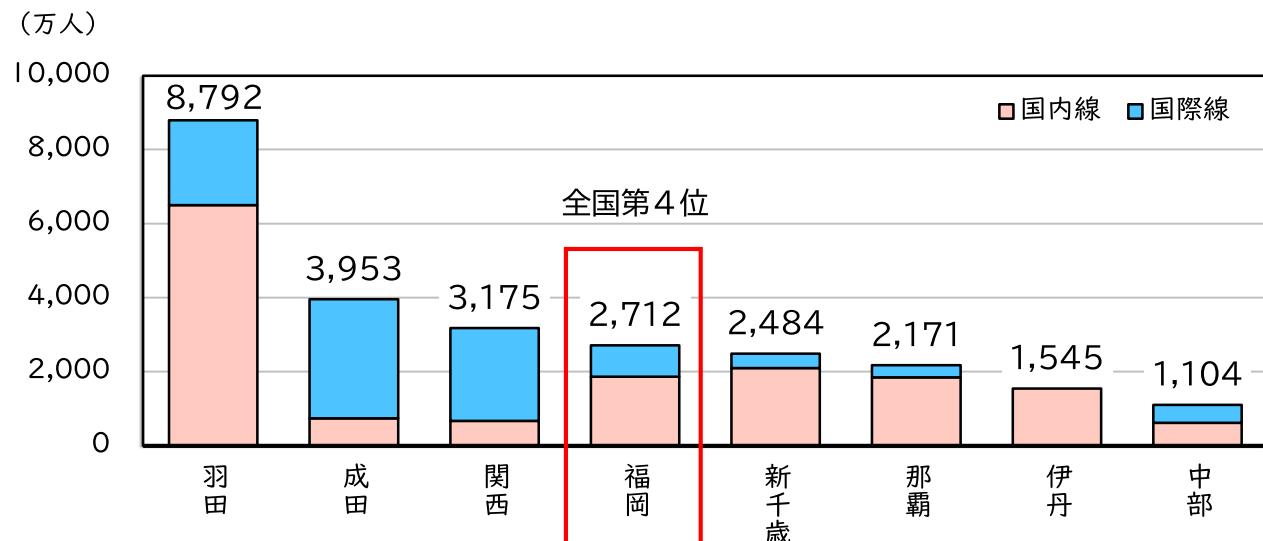
■イメージ図



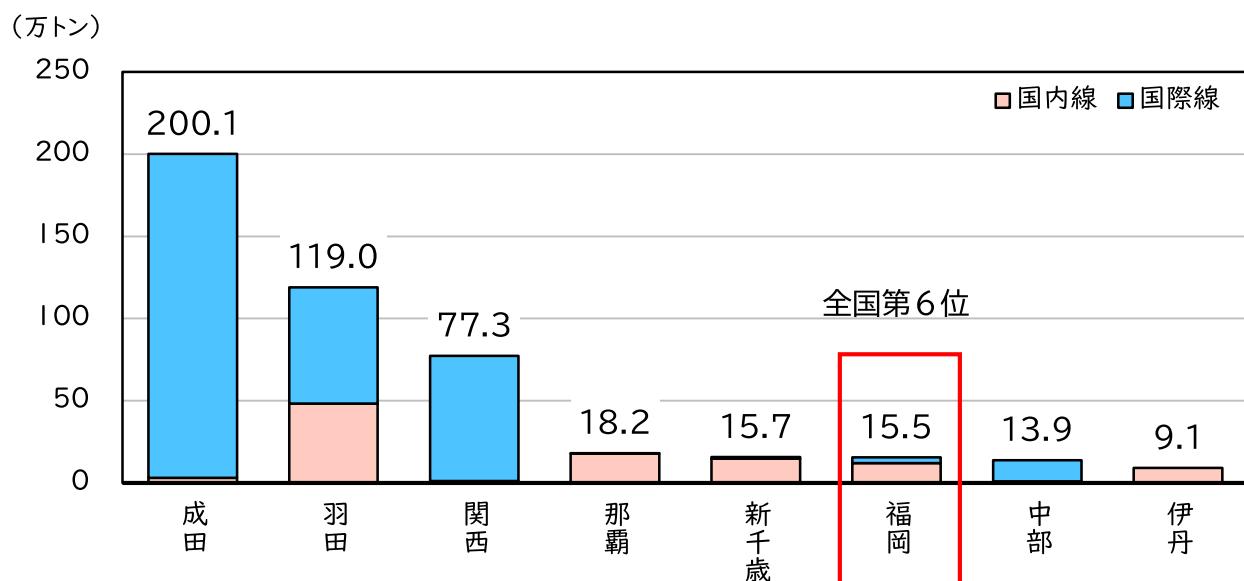
出所：梓設計・隈研吾建築都市設計事務所・西日本技術開発共同企業体

1 福岡空港の利用状況について

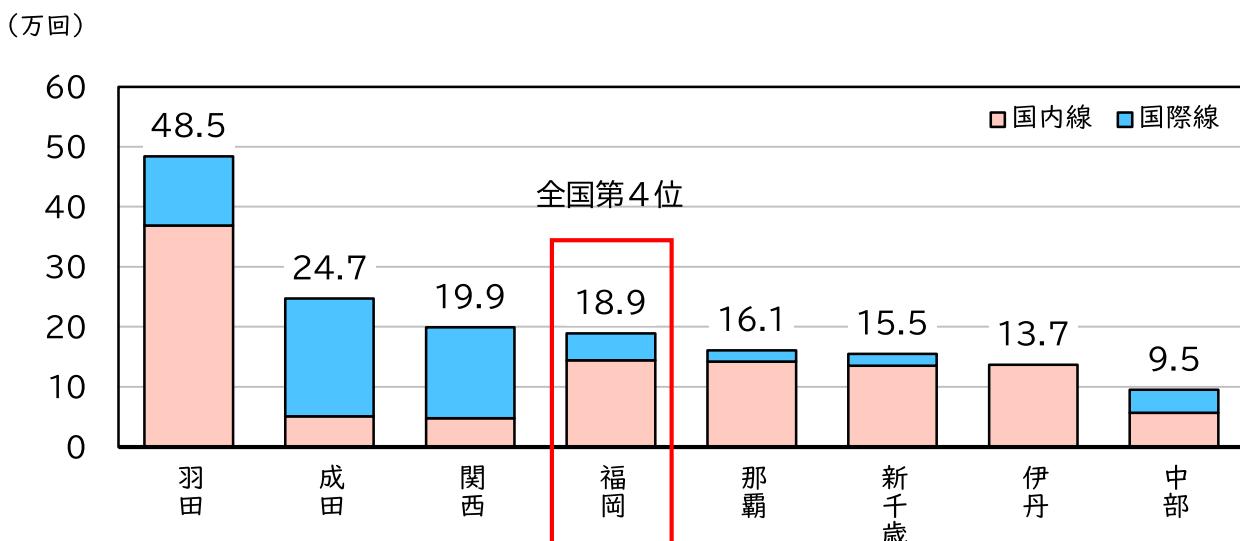
(1) 乗降客数 (令和6年度)



(2) 貨物取扱量 (令和6年度)



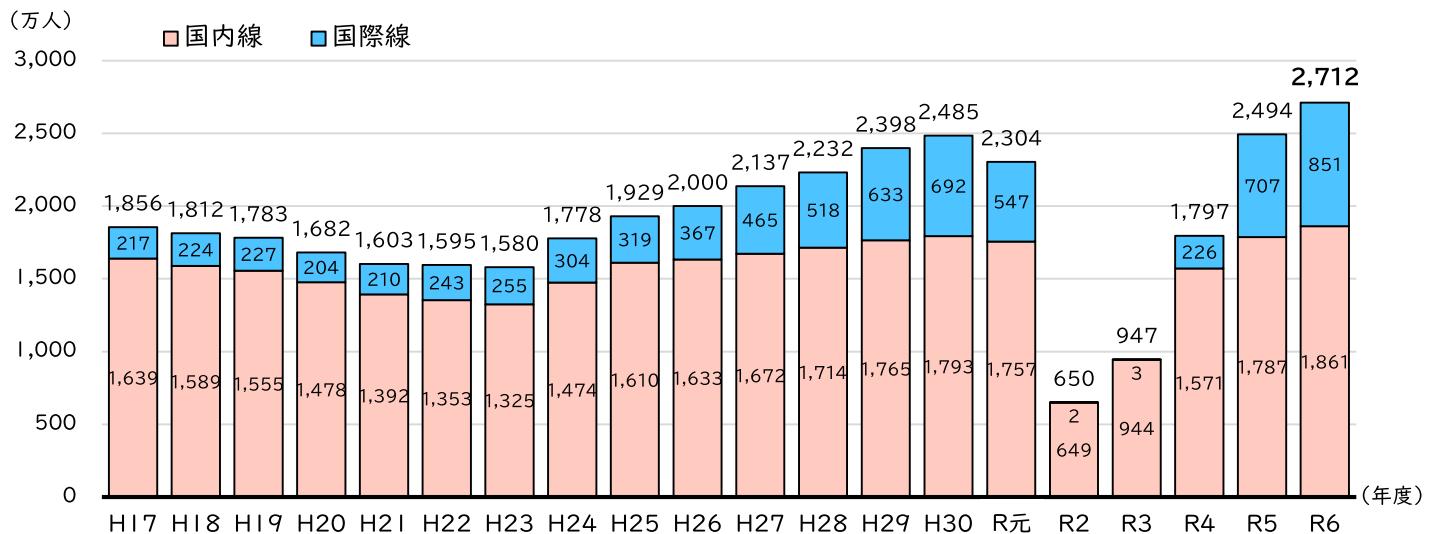
(3) 発着回数 (令和6年度)



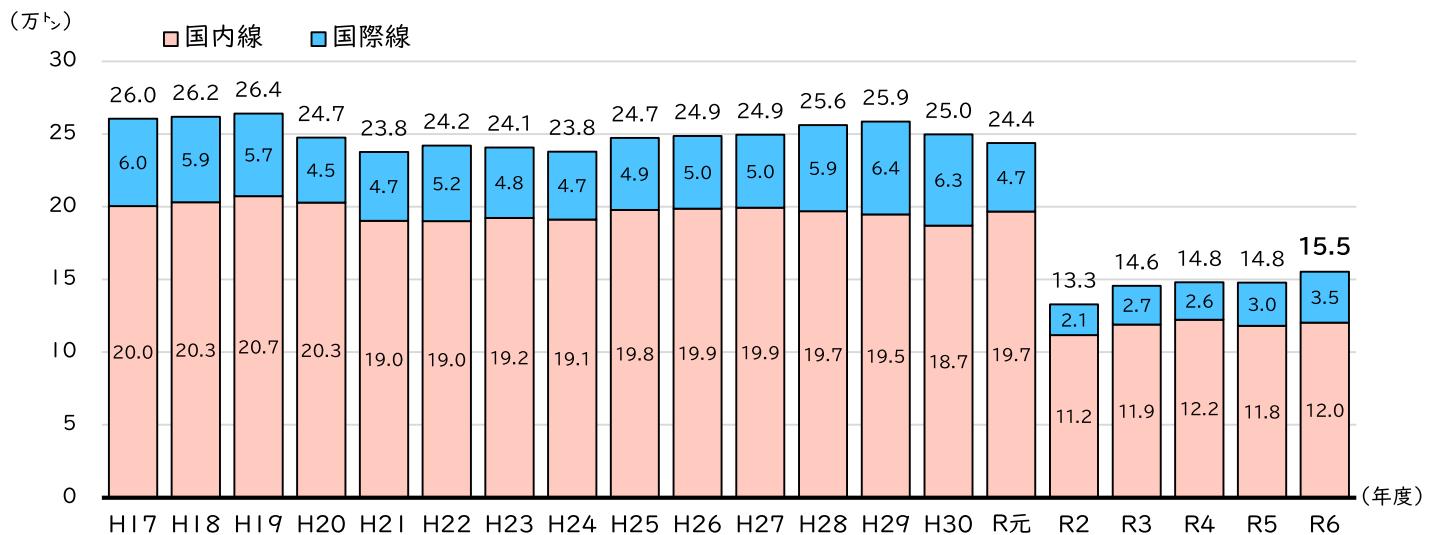
※国土交通省「空港管理状況調査」による（発着回数はヘリを含む）

(4) 乗降客数・貨物取扱量・発着回数の推移

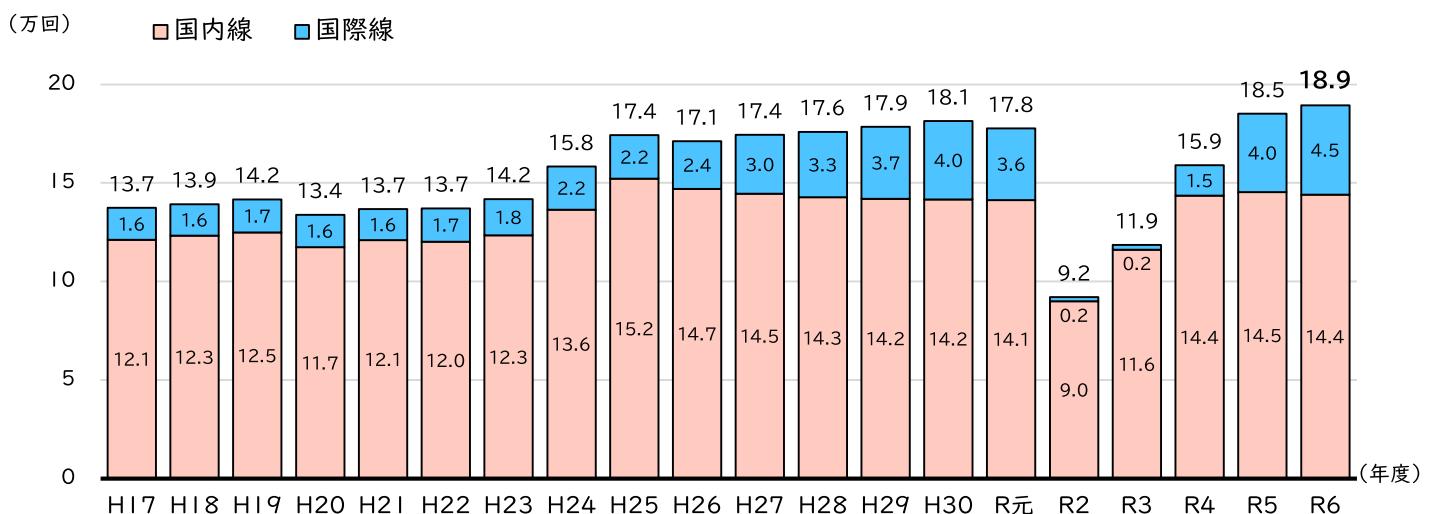
■乗降客数の推移



■貨物取扱量の推移



■発着回数の推移



※国土交通省「空港管理状況調書」による（発着回数はヘリを含む）

※端数処理のため合計が合わない場合がある

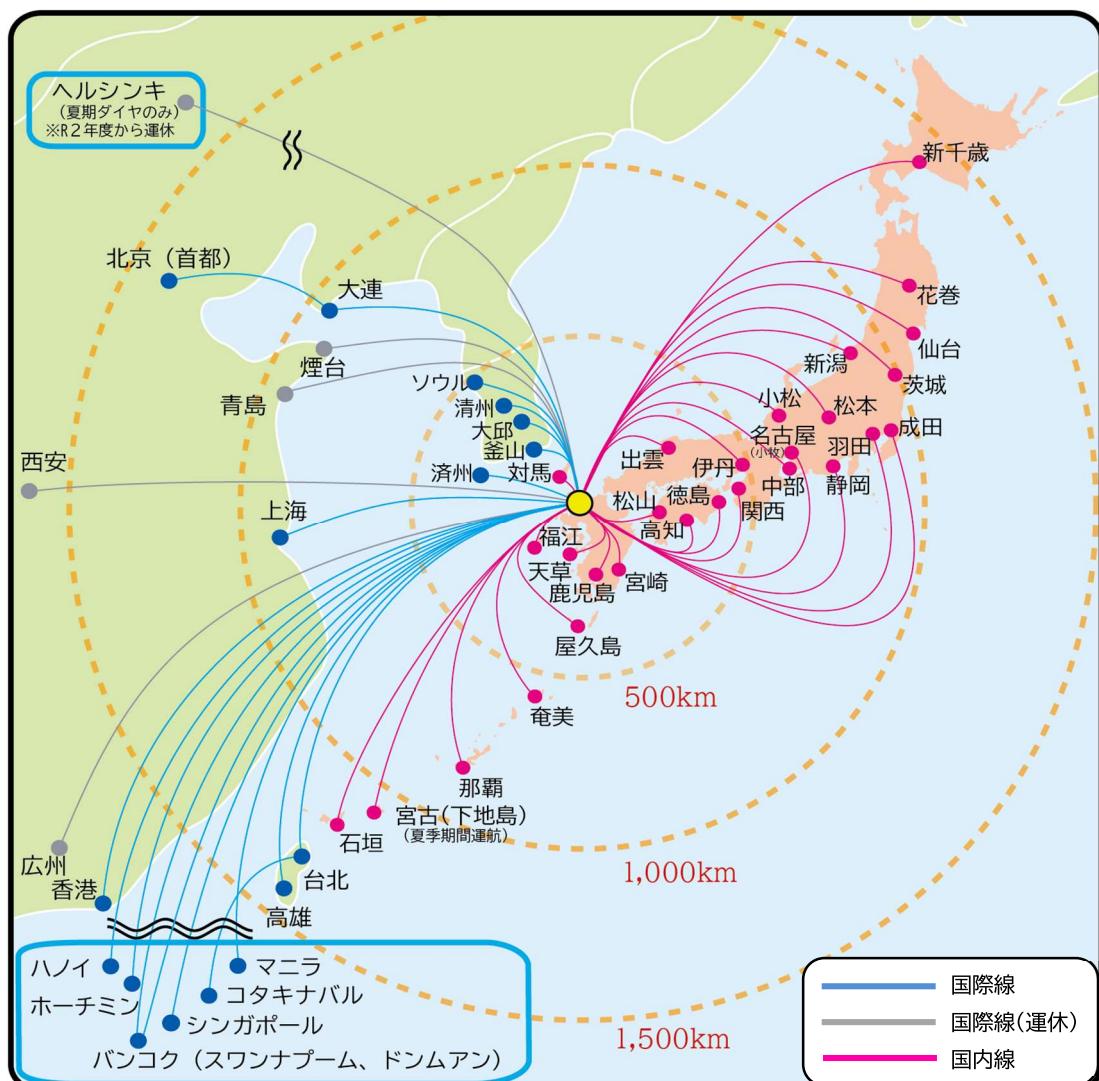
2 福岡空港の就航路線について

(1) 現在の路線数、便数 (令和7年12月現在)

福岡空港の時刻表 (12月) を基に福岡市港湾空港局で作成

区分	路線数	発着便数	乗入航空会社数	行 先
国際線	22 ※運休含む	934 (便/週)	31	ブサン ソウル、釜山、大邱、清州、濟州、上海、北京、 ダイレン チンタオ イエンタイ コウシュウ セイアン ホンコン タイペイ 大連、青島、煙台、広州、西安、香港、台北、 カオション 高雄、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミン、 シンガポール、コタキナバル ※下線部は時刻表上「運休」 計 21 都市 (8 力国・地域)
国内線	27	392 (便/日)	13	羽田、成田、新千歳、花巻、仙台、新潟、小松、松本、 茨城、静岡、中部、名古屋(小牧)、関西、伊丹、出雲、 松山、徳島、高知、対馬、福江、天草、宮崎、鹿児島、 屋久島、奄美、那覇、石垣 計 27 空港

※乗入航空会社については、コードシェアのみの会社を除く



(2) 主な路線の新規就航状況（令和6年度以降）

◆ 国際線

就航日		路線	航空会社
令和6年	9月 20日	広州	春秋航空
	12月 7日	煙台	中国東方航空
	12月 17日	西安	長竜航空
令和7年	1月 20日	上海	上海吉祥航空
	4月 15日	高雄	チャイナエアライン
	4月 25日	ホーチミン	ベトジェットエア
	5月 2日	清州	エアロK
	8月 15日	コタキナバル (台北経由)	エアアジア
	10月 26日	釜山	ティーウェイ航空
	10月 26日	釜山	イースター航空
	12月 20日	濟州	ティーウェイ航空

◆ 国内線

就航日		路線	航空会社
令和6年	3月 30日	新千歳	フジドリームエアラインズ
令和7年	10月 3日	仙台	スターフライヤー
	10月 26日	仙台	フジドリームエアラインズ
	10月 26日	花巻	フジドリームエアラインズ

3 福岡市・福岡国際空港(株)協議会について

福岡市は、空港運営会社との間で、相互の協力と密接かつ持続的な連携により、福岡空港及び地域の活性化を図ることを目的として、パートナーシップ協定を締結し、市独自の協議の場（福岡市・福岡国際空港(株)協議会）を設置している。

（令和7年1月以降分）

開催日・出席者	概要
令和7年1月 31日(幹事会) 【福岡市】 港湾空港局長、理事、 空港振興部長 他 【福岡国際空港(株)】 副社長、 経営企画本部長 他	<ul style="list-style-type: none">市から、市議会における空港関連の主な質疑について説明し意見交換を行った。市から、増設滑走路の供用を契機として、市と連携して航空ネットワークの充実強化及び空港の更なる利便性の向上に取り組むとともに、安全・安心で地域に寄り添った空港運営に努めるよう申し入れた。福岡国際空港(株)からは、福岡市の意向を踏まえ、次年度事業計画を策定する旨の発言があった。市から、国際線 PSFC 改定に併せて行う市民向けキャンペーンの検討状況について説明を求め、福岡国際空港(株)からは、福岡空港の店舗や駐車場で利用できるクーポン等の配布を検討しており、詳細が決まり次第、改めて報告する旨の回答があった。市から、国際線ターミナルに整備が計画されているビジネスジエット受入施設について、今後意見交換を行いたい旨を申し入れた。 また、令和 7 年 3 月に開催する「FUKUOKA FLOWER SHOW Pre-Event」の周知について協力を求めるとともに、市民とのタッチポイントにおける緑化の推進について、福岡空港での取り組みを検討するよう申し入れた。福岡国際空港(株)からは前向きに検討する旨の回答があった。国際線旅客ターミナルの交通事業者乗降場等の運用にあたっては、事業者に過度な負担とならないよう、また空港利用者の利便性が損なわれることがないよう申し入れた。福岡国際空港(株)からは、市の意見を踏まえ、適切に対応していく旨の発言があった。
令和7年6月 19日(幹事会) 【福岡市】 港湾空港局長、理事、 空港振興部長 他 【福岡国際空港(株)】 副社長、 経営企画本部長 他	<ul style="list-style-type: none">市から、市議会における空港関連の質疑について説明した。福岡国際空港(株)から、2024 年度決算についての説明があり、営業利益が過去最高となったとの報告があった。また、新滑走路の供用開始後、一方の滑走路が一時閉鎖されても、他方の滑走路を使用できた事例の報告があった。保安検査や入国審査においては、特段の混雑は見られず、利用者からも好評をいただいているとの報告があった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡国際空港(株)から、国際線 PSFC 改定に伴い実施中の福岡市民・県民向けキャンペーンについて説明があった。今後も福岡国際空港(株)と市が連携してアウトバウンド促進に取り組んでいくことを確認した。 ・福岡国際空港(株)から、国際線南コンコース延伸及びビジネスジエット専用施設の計画について報告があり、高付加価値旅行者の受入環境整備に両者で連携して取り組んでいくことを確認した。 ・市から、市民や利用者とのタッチポイントにおける緑化への協力を申し入れるとともに、安心安全な空港運営の継続と地域共生事業の推進に取り組むことを確認した。 ・福岡国際空港(株)から、羽田空港の利益供与事案を受けて、国土交通省から要請のあった自己点検の結果、福岡空港においては不適切な事例は確認されなかったとの報告があった。今後も、福岡空港に関する情報を速やかに共有することを確認した。
<p>令和7年12月5日(協議会) 【福岡市】 市長、副市長、 港湾空港局長、理事 他 【福岡国際空港(株)】 社長、副社長、 経営企画本部長 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡国際空港(株)から、令和7年度中間決算についての説明があり、旅客数の増加等により、当期純利益が初の黒字化となる見通しであるとの報告があった。また、増設滑走路の供用開始後、一本の滑走路が閉鎖されてももう一本の滑走路で離発着が可能となったため、航空機の安定的な運航に寄与しているとの報告を受けた。 ・また、欧米豪路線などの長距離路線の航空ネットワーク強化や、回復が遅れている日本人アウトバウンドの促進、高付加価値旅行者の誘致などについて、両者で連携して取り組むことを確認した。 ・福岡国際空港(株)から、11月に開催された福岡空港機能向上等検討委員会の報告があった。 <p>市から、発着枠拡大への期待とともに、空港の機能強化や将来予定されている騒音対策区域の見直しに伴い、より一層、安全・安心で地域に寄り添った空港運営を行うよう申し入れ、福岡国際空港(株)も地域共生事業の充実などに取り組んでいくことを確認した。</p> ・福岡国際空港(株)から、国際線ターミナル増改築工事および国内線ターミナル複合施設整備の進捗状況について説明を受けた。市から、施設整備の着実な実施と、複合施設の整備に伴い懸念される交通渋滞や駐車場不足への対策について申し入れた。また、バスやタクシーなどの乗降場等の整備にあたっては、交通事業者等と十分に協議し、利便性の一層の向上に努めるよう申し入れた。